

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

# 京丹波

No.32

2008年  
6月13日発行

何個食べられるかな

環境 特集 問題



今月の表紙

5月19日、わちエンジェルの3～5歳児の園児45人が久保幸男さん(坂原)のイチゴ畑を訪れ、イチゴ狩りを体験。園児たちは、鈴なりになった真っ赤なイチゴを収穫し、「甘くておいしい」と言いながらおいしそうに食べていました。

## 京丹波町の豊かな自然を 次の世代に引き継ぐために

世界規模で環境を守る取り組みが進められています。みなさんは日常生活の中で「環境」を意識されていますか。環境への取り組みは、「誰かがしてくれるのでは」の意識ではなく、わたしたち一人ひとりが心がけて、実践することが大切です。わたしたちの住んでいる京丹波町の豊かで美しい自然環境を次の世代へ引き継ぐためにも、身近な環境への取り組みを実践しませんか。

# 環境 特集 問題

### わたしたちを取り巻く 環境問題の現状は

わたしたちの暮らしは、電化製品や自動車の普及、商業施設の発展、工業化の進展などにより、豊かで快適な生活ができるようになりました。しかし、わたしたちの生活が豊かになるにつれて、自然環境に与える負担は増加しています。

自然には自浄作用や修復作用があるので、小規模な負担であれば解消することができますが、解消しきれない負担を与えると「環境問題」となって周囲に影響を及ぼします。

今、わたしたちの周囲では、長年にわたり積み重ねられた負担が引き起こす環境問題が深刻化しています。

環境問題は、ごみ量の増加や不法投棄、河川の水質悪化といった身近な問題から、地球温暖化、大気汚染、土壌汚染、砂漠化、酸性雨などの地球規模の問題まで幅広く多岐にわたっており、近年では、人為的な要因が大きく影響する、騒音、振動、悪臭、光害なども問題となっています。

環境問題の特徴は、環境に負担を与えている人だけではなく、周りの人や次世代にまで影響を及ぼすことです。

そのため環境問題への取り組みは、二酸化炭素やフロンガスといった温室効果ガスの総排出量を削減することを決めた「京都議定書」の発効、ハイブリッドカーやエコ商品の開発、循環型社会の構築などにより、世界規模で行われています。

自然環境を守るためには、環境問題への取り組みを知り、日ごろから意識することが大切です。

## 広報 京丹波 No.32 CONTENTS

2	<b>特集 環境問題</b>
8	行政改革大綱を策定
10	[シリーズ]ケーブルテレビの全町普及に向けて
12	Dr's Message いきいき健康術
13	<b>フラッシュ</b> TOWN NEWS 2008
	白熱した戦い —第3回京丹波町ホッケーフェスティバル
	勇気を出してチャレンジ —三ノ宮小学校1年生歓迎会
	大きく育ててね —和知小学校稚アユ放流体験
	人の心に緑の憩いを —第33回ふれあいグリーンキャンペーン
	山里の味覚を満喫 —質志鐘乳洞公園春祭り
	力を合わせて美しい道路環境を —ボランティア・ロード丹波
	公園内は楽しいことがいっぱい —タケノコ掘りとカブトムシの幼虫捕り体験
	地域の伝統行事 —京都祇園八坂神社御田祭
	スポーツを通じた交流を —第3回京丹波町軟式野球大会
16	<b>【まちの元気人】塩田喜一さん</b>

# ごみ 減量化への取り組み

## 家庭から出るごみの量は

環境問題を考える中で大切なのは、日常生活から出るごみの量を知ることです。

全国の家庭から出る一般廃棄物(ごみ及びし尿)の量は、年間約五千万トンで、東京ドーム百四十杯分。一人当たりで換算すると、日量で一・一キログラムになります。

京丹波町は、家庭などから出るごみの収集や処理を、本町と南丹市が設置する船井郡衛生管理組合で共同処理しています。

同組合で処理された本町のごみの量は、十九年度で三〇五五トン。内訳を見ると、可燃ごみ二二七二トン、資源ごみ六三二トン、埋立ごみ五十二トンとなります。

十六年度から十八年度までのごみの総排出量は増加傾向ですが、十九年度と前年度を比較すると一八四トンのごみ減量化が図られています。特に、リサイクルできない可燃ごみや埋立ごみは減少傾向にありますので、分別収集の取り組みが進んでいると考えられます。



可燃ごみの収集をされる船井郡衛生管理組合の職員

## 「ごみを出さない」気持ち大切

資源を有効に利用するためには、行政、住民、事業者がそれぞれの立場でごみ減量化に取り組む必要があります。

そのような中、各地域で注目されているのが「3R」(スリーアール)の取り組みです。

3Rとは、

●「Reduce」(リデュース) 廃棄物の発生抑制

●「Reuse」(リユース) 製品などの再使用

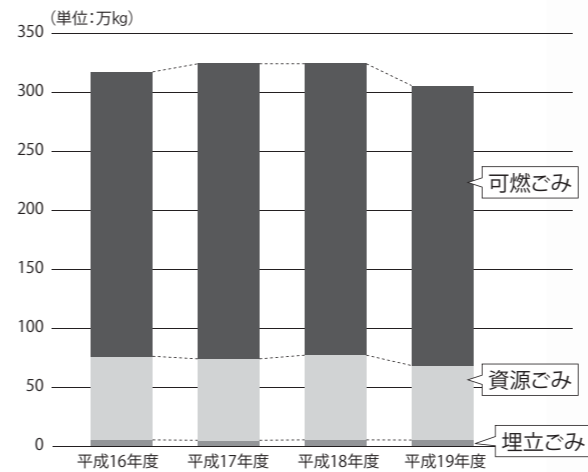
●「Recycle」(リサイクル) 再資源化

で、地域全体でごみを出さない取り組みです。

ごみを減らすことは、ごみ焼却時に発生する二酸化炭素などの削減や地球温暖化の防止、ダイオキシンの抑制につながります。

また、町は同組合へ負担金と手数料を支出していますが、ごみの処理量に応じた手数料は、みなさんの家庭から出るごみの量によって変わりますので、ごみの量を減らすことは、環境問題への取り組みだけではなく、町財政の負担を減らすことにもつながります。

## 船井郡衛生管理組合での廃棄物処理実績 (各年度4月1日～3月31日)



(単位: kg)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	前年比	
可燃ごみ	家庭系	1,541,560	1,555,990	1,524,710	1,511,270	99.12%
	事業系	867,230	943,600	944,060	860,710	91.17%
資源ごみ	アルミ	11,800	11,350	12,333	10,530	85.38%
	金属・粗大・家電	151,910	137,130	140,278	105,898	75.49%
	ペットボトル	16,540	17,250	19,310	22,000	113.93%
	ビニール類	285,010	280,660	308,960	302,380	97.87%
	紙パック	15,726	20,069	15,762	7,370	46.76%
	段ボール	56,085	56,345	53,738	30,880	57.46%
	乾電池	6,540	6,590	6,440	5,880	91.30%
蛍光灯	5,610	4,740	3,180	2,420	76.10%	
ビン類	159,190	155,480	157,430	144,190	91.59%	
埋立ごみ	ガラス・陶磁器	53,160	50,120	53,260	51,790	97.24%
合計	3,170,361	3,239,324	3,239,461	3,055,318	94.32%	

## 船井郡衛生管理組合への負担金・手数料支払額

(単位: 千円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
負担金	227,513	233,583	257,220	284,071
手数料	37,338	36,365	38,860	38,131
合計	264,851	269,948	296,080	322,202

※負担金には、火葬業務やし尿処理などに係る費用も含まれています。

## 買い物の参考になるマーク

再生PET樹脂 リサイクル推進マーク  
PETボトルを再商品化した製品につけられるマーク。

グリーンマーク  
古紙を一定以上の割合で原料に使用した紙製品に表示されるマーク。

リターナブルびんマーク  
販売店に返却して、繰り返し使うガラスびんのマーク。

Rマーク  
牛乳パック再利用マーク  
使用済み牛乳パックを再利用した商品のマーク。

R100  
再生紙使用マーク  
再生紙の古紙配合率を表示するマーク。表記の数字は古紙の配合率を示す。

Eコマースマーク  
環境保全に役立つと認められた製品に表示されるマーク。

※環境のことを考えた商品には、Eコマースマークやグリーンマークなどが表示されています。

## ごみの分別に役立つ識別マーク

プラスチック製 容器包装  
飲料・酒類・しょう油用のPETボトルを除く

紙製容器包装  
飲料用紙パック (アルミ不使用のもの) と段ボール製のものを除く

飲料・酒類・しょう油用のPETボトル

飲料用スチール缶

飲料用アルミ缶

## ごみを出すときは、「分ければ資源、混ぜればごみ」の考え方を実践して

リサイクルは、みなさんがごみの分別収集にご協力いただくことで取り組むことができます。

ごみを出すときは、「何かに使えないか」「修理できないか」を考えてから、配布している「ごみの正しい分け方と出し方」や、容器に表示されている識別マークを参考に分別をしてください。

今一度、「分ければ資源、混ぜればごみ」の考え方を再認識して、日ごろの生活からごみ減量化に取り組んでください。

## ごみ減量化に向けて

本町では、環境問題に取り組むみなさんに対して、古紙などの資源ごみを集団で回収いただける団体に対する「資源ごみ集団回収事業報奨金」や、家庭から出る生ごみなどを自家処理いただくための「生ごみ堆肥化処理機器等購入助成金」を支給していますのでご利用ください。



きちんと分別をしてリサイクルを



専用の容器がいっぱいになったらステーションに設置されたドラム缶に入れます。

家庭から出る天ぷら油は専用の容器に入れます。

# 美しい自然環境を守るために

## 農村環境を守り

### 未来に引き継ぐために

十九年度から導入された「農地・水・環境保全向上対策事業」は、農村環境を守って未来に引き継ぐことを目的としており、町内で四十二組織が設立。各組織では農業環境を守るために、農道や水路周辺の草刈り、ごみ拾いなどに取り組みられています。

## 不法投棄の防止を目指して

現在、自然環境に大きな影響を与えているのが「不法投棄」です。

不法投棄は、「分別収集をするのがめんどうくさい」「処理費用がもつたない」「捨てておけば誰かが処理する」などの安易で自分勝手な考え方から行われていますが、処理するには多くの人手と費用がかかっています。「自分



鎌谷下区ではごみ拾いなどの清掃活動が毎年行われています。

だけなら」「これくらいなら」の考え方でなく、不法投棄がなくなるように地域が一丸となって取り組むことが大切です。

本町では、各地域での清掃活動やボランティア・ロード丹波をはじめとして、下山区とグリーンハイツ区のみなさんが協力して畑川ダム建設予定地周辺などの不法投棄ごみの回収に取り組まれています。

## 不法投棄は犯罪です

不法投棄を安易に考えている人もいますが、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」では罰則規定が定められています。

同法第二十五条では、「五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金に処し、または、これを併科する」と罰則を規定しており、何気ない気持ちで行った行為で大きな代償を払う結果を招くことになります。



不法投棄は緑豊かな風景も損ないます。

# 六月は環境月間です

環境に関する取り組みは、一朝一夕で成果が表れるものではありません。大切なのは、町内の自然環境の美しさを知り、みなさんが日ごろから環境に対する取り組みを展開していくことです。

環境基本法に基づき各自治体では、毎年六月を「環境月間」と位置づけて、環境に関する取り組みやPR活動などを行っています。本町では、温室効果ガス削減に向けた取り組みや、ごみ減量化への呼びかけを行っていますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

## ご存知ですか

### 「京都の自然二〇〇選」

京都府では、府内の優れた自然環境の保全を目的に「京都の自然二〇〇選」を選定されています。

京都の自然二〇〇選では、市町村などが推薦した自然環境の中から、計二〇二点を選定。部門別では、植物部門五十五点、動物部門四十五点、地形・地質部門四十六点、歴史的・自然環境部門五十六点となっています。

本町では、植物部門に、九手神社のアラカシ(豊田)、源水の大スギ(須知)、質美八幡宮のス



九手神社のアラカシは、幹周4メートル、樹高15メートルで府内でもまれな巨樹古木です。アラカシは通常、古木となると幹が空洞化して枯れやすい性質を持っており、これだけ太く、生育優良なものは貴重とされています。

町内では、地域や事業所、学校、各種団体などが主体となつて、さまざまな環境問題への取り組みを展開されています。

その中でも、質美地域振興協議会のみなさんは、ごみ減量化と廃油(食用油)のリサイクルを目的に、地域独自で「廃油回収」に取り組まれています。

## 「地域からリサイクルの大切さを」

「地域の自然環境を守ることが目的で、廃油回収は、わたしたちのできる取り組みの一つです」と話すのは、質美地域振興協議会で文化環境委員長を務める大西好美さん。

質美地域で行われている廃油回収は、大西さんら主婦二人が環境保全の講演会に参加したときに、廃油がグリーンエネルギーに再生できることを知り、今まで肥料として畑にまいたり、焼却されていた廃油を有効利用したいとの思いから、行仏区と下村区にタンクを設置して開始。平成十八年には同協議会の総会で地域あげて廃油回収に取り組むことを決定し、現在は、質美地域に三カ所のステーション(回収場所)を設けて、廃油回収に取り組まれています。

「廃油を出すときに気をつけたいといけなのは、水や動物性油を入れないことと、天ぷらかすをきれいに取り除くことです」と大西好美さん。取り組みは環境保護を目的としているので、回収した廃油が純度の高い燃



大西明美さん(左)、大西好美さん(中)、大西広美さん(右)

料として有効活用できてうれしいと話されます。

廃油回収の活動は、十九年度に府の地域力再生プロジェクト支援事業の対象となり、同協議会では交付金を活用して、のぼり旗や回収用タンクなどを購入し、活動内容の充実を図られています。

また、前年度は環境教室を開催し、子どもたちと一緒に廃油を使つたろうそくづくりを実施。本年三月には、回収された廃油から精製されるバイオ・ディーゼル燃料を使用したトラクターの試験運転にも取り組みました。

「廃油回収の取り組みが質美地域全体に広がったのは、地域振興協議会のおかげで

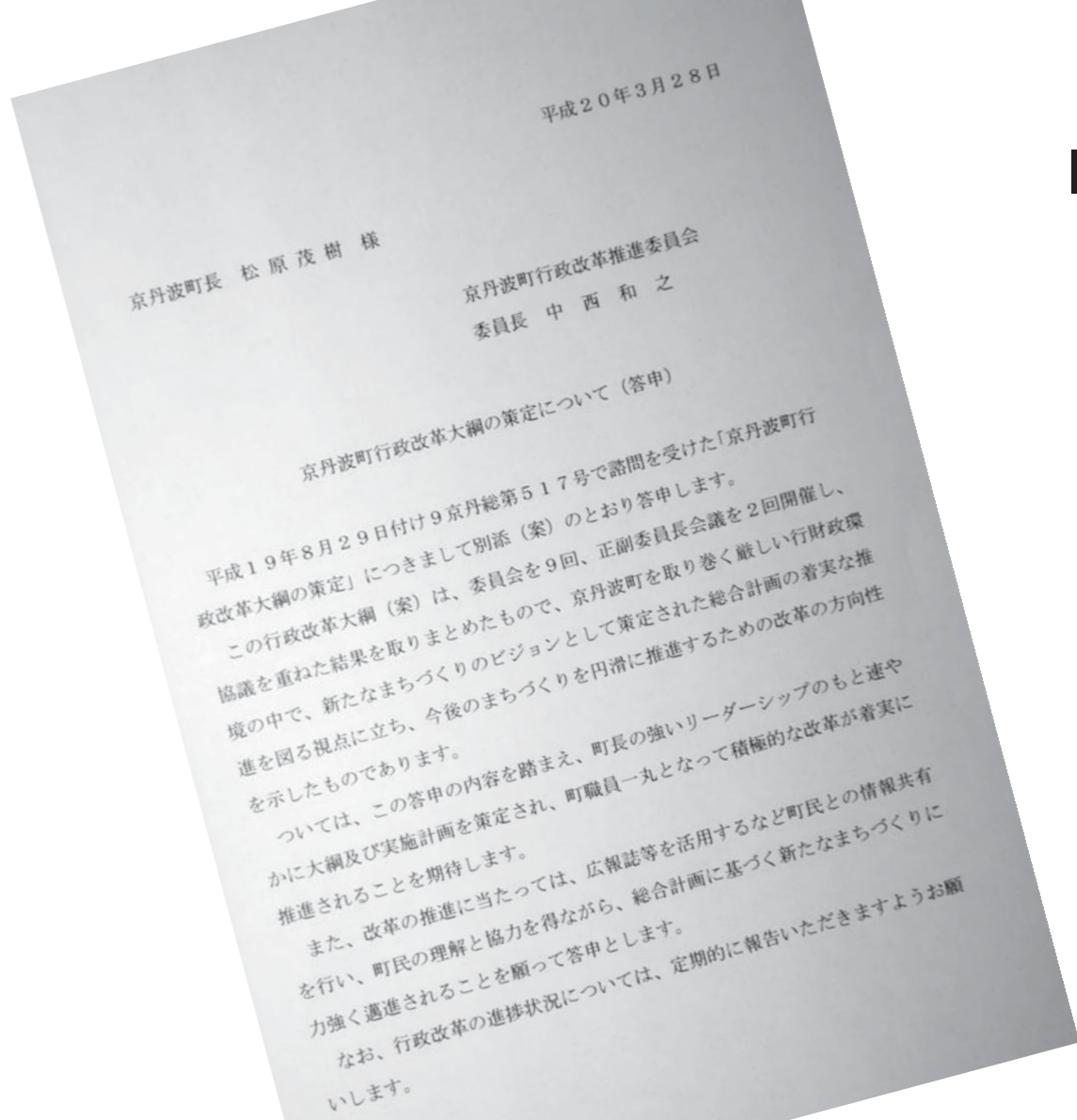
質美集落の氏神である質美八幡宮では、並木道を歩いて2番目の鳥居をくぐった辺りからうっそうと巨木群が現れます。巨木群の生育する鎮守の森としても有名です。

## 「地球温暖化対策実行計画」の目標達成に向けて

本町では、地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた取り組みとして、昼休みの一斉消灯やエアコンの適温使用(室温28℃以上の場合のみ、冷房設定温度26℃で使用)などによる電気使用量の削減、公用車のアイドリング・ストップ、廃棄物の減量化などに取り組んでいます。

また、本年度も6月2日～9月30日までの間、クールビズ(夏季期間中におけるノーネクタイおよび軽装勤務)を実施していますので、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 平成二十四年度の数値目標は、「経常収支比率八十パーセント台」、「実質公債費比率十八パーセント以下」。



## ■行財政改革の必要性

町がめざす将来目標像「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷」●京丹波」を実現するには、町総合計画に基づいた円滑な行政運営を推進する必要があります。

本町は合併以前の旧町から行財政改革を実施してきましたが、予想以上の速度で進められる国の各種改革に対応するには十分ではありません。

町総合計画に基づいた円滑な行政運営の推進や、現世代と次世代の町民が安心して暮らせる町にするには、さらに簡素で効率的な行政運営を行う必要があります。

## ■行財政改革を推進するために

中西和之委員長をはじめとした八人の委員で組織する行政改革推進委員会は、十九年八月から二十年三月までの間に、九回の全体会議と二回の正副委員長会議を開催し、行政改革大綱を策定するための調査や審議を行い、本年三月二十八日に松原町長へ答申書を提出されました。

町では、答申内容を受けて、住民ニーズに応じた「自主、自立」のまちづくりを推進するための指針となる「行政改革大綱」を策定しました。

## ■推進期間

平成二十年度から二十四年度までの五年間。

### 基本理念は「自立と共生」

依存財源に頼ることなく、財政の健全化を実現する。

本町では、町民が豊かな生活を送ることができるよう、福祉や施設整備の充実に努めてきましたが、その財源の大半を交付金や借金で賄ってきました。しかし、そのような財政運営は限界となりつつあります。豊かさは、自分たちで築きあげるものであり、「誰かがやってくれるだろう」「何とかするだろう」ではなく、自分たちで考えて実行していかなければなりません。

行政と町民が、ともに痛みを分かち合いながら、ともに考え、ともに汗を流すことにより、次世代が安心して暮らしていける町にすることが私たちに課せられた責任です。

**■理念を実現するための基本方針**

身の丈にあった町政の実現

多種多様化したニーズに対応していくためには、限られた財源を効率的、効果的に

財政健全化のために	協働による開かれたまちづくりの推進
<p>①全般的事項</p> <p>24年度に、経常収支比率80%台、実質公債費比率18%以下を目指す。</p> <p>②歳入対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●町税などの確保</li> <li>●町有財産の有効活用と処分など</li> </ul> <p>③歳出対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●組織と人員の見直しによる人件費の抑制</li> <li>●公債費の削減</li> <li>●経常経費の削減</li> <li>●事務・事業の見直しなど</li> </ul>	<p>①協働によるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住民自治意識の高揚</li> <li>●地域住民自治組織などの育成</li> <li>●地域づくりへの職員参画</li> </ul> <p>②情報公開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●積極的な情報公開の推進</li> <li>●行政運営の意識改革</li> </ul> <p>③やさしく、わかりやすい行政運営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人にやさしい行政運営の推進</li> <li>●情報化推進による利便性の向上</li> </ul> <p>④人材育成と意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材育成の推進</li> <li>●職員の意識改革</li> </ul>

活用していくことが重要です。将来の安定したまちづくりのためにも、身の丈にあった町政を実現する必要があります。以下のことを実施する必要があります。

①簡素で効率的、効果的な行政運営システムによる歳出の抑制

徹底した経費削減と効率化による財政健全化や効率的で効果的な行政運営を図る必要があることから、組織・機構のあり方、事務・事業の検証を図り、最小のコストで最大の効果が発揮できる取り組みを実施します。

②ゼロベースの推進

「これまでこうだった」「前はこうしていた」といった既得権を見直し、予算のあり方も含めて白紙の状態から最善の方策を考え、実行します。

③職員の意識改革

職員一人ひとりが、常に問題意識と目的達成意欲を持ち、既存の枠組みや従来の慣行にとらわれない斬新な政策立案能力、企業的感覺に立った発想力が求められます。

**■自主財源の増収**

①滞納税金の徴収

滞納税金は平成十八年度末で約二億四千万円。公平性の観点や徴収を確保するためにも、滞納税金の徴収強化を図ります。

②京丹波ブランドを活かした事業の創出

地域ブランドを活かした事業の創出や販売量拡大による自主財源の増加を図るとともに、新たな事業の創出、雇用の場の拡充、地域における町民の活動や地域ブランドがコミュニティビジネスとして発展する可能性を育てます。

**用語の説明**

【経常収支比率】財政構造の弾力性を示す指標。人件費や公債費などの毎年度経常的に支出する経費に対して、町税や地方交付税などの毎年度経常的に収入できる一般財源がどの程度使われたかを表す比率。

【実質公債費比率】公債費による財政負担の程度を示すもので、従来の起債制限比率に反映されていなかった公営企業の公債費への一般会計繰出金などの公債費類似経費を算入するもの。18%を超えると許可団体、25%を超えると起債制限団体となる。

【公債費】地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金の合算額。

【ゼロベース】いままでのやり方をいったん白紙に戻し、新しく考え、実行していくこと。各予算をすべてゼロにもどして査定しなおすこと。

【コミュニティビジネス】地域資源を活かしながら、地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むこと。

**■情報公開の必要性**

行政改革の方策を円滑に進めていくために、積極的に情報を公開していきます。

**■住民参加型の町政運営と人材の育成**

町民と行政の役割分担を明確にし、町民が主体となって地域活動に取り組み施策を講じるとともに、住民自治組織によるまちづくりを積極的に支援します。

①シルバー世代の住民力の活用

定年退職されたみなさんの知識や技術、経験などを活かし、活躍できる場の情報を提供します。

②次世代人材の町政参画

子どもたちが歴史や文化に積極的に触れることにより、まちづくりに参画できる取り組みを展開します。



松原町長に答申書を手渡す行政改革推進委員会の中西委員長(町長室)

# ケーブルテレビの全町普及に向けて

シリーズ「ケーブルテレビの全町普及に向けて」では、地域情報化を取り巻く現状や課題をはじめ、本年度から本格化するケーブルテレビ拡張整備の取り組みを詳しくお伝えします。

## 第1回:「ケーブルテレビ」とは

しかし、丹波町地域有線情報システムのフックス二斉送信装置は老朽化が深刻で、修理部品の入手が困難な状況や代替機の製造終了などにより、現状サービスの提供が年々難しくなっています。

町民のみなさんへの情報伝達手段は、旧町毎に、自主放送番組や告知放送フックスサービス、インターネット接続サービスなどを行っていますが、それぞれに操作作業や保守、機器更新などが必要な状態であり、お知らせする内容も統一できていません。

また、インターネット接続サービスに代表されるブロードバンド環境は、採算性などの問題から、民間事業者が都市と同等のサービス展開を行う可能性は極めて低い状況です。

### ▼地域情報化の課題は

行政の役割としては、町民のみなさん



自主放送番組の撮影。

### ▼地域情報化の現状は

情報化社会においては、情報技術の進歩が目覚しく、日進月歩で技術革新が起こっています。

また、その情報技術を使ったサービスも多様化し、生活環境のあらゆる場面での利活用が進められています。

京丹波町では、旧町においてそれぞれ情報化施策を進め、その時代に適応した情報基盤を整備してきました。



自主放送番組の収録の様子。(瑞穂ケーブルテレビ)

ンネル(自主放送番組)が視聴できません。インターネット接続についても、低価格で高速な環境のもと、常時接続が楽しめます。

### 【問】今後の整備予定は。

【答】全地域開局予定は平成二十三年四月。本年度から幹線や中継設備などを整備し、二十一年度以降に順次宅内の引き込み工事などを行う予定です。宅内への引き込みについては、詳細が決まったあとで、説明会や広報紙、チラシなどで案内をさせていただきます。

【問】ケーブルテレビ利用に当たって、必要な経費はどのようなものがありますか。

### ケーブルテレビにおける費用負担について(予定)

加入金	
●全域開局前	10,000円
●全域開局後	80,000円
利用料	
●基本利用料	月2,000円
●インターネット基本通信料	月2,000円
<small>(別途申し込みが必要。また、追加オプション費用が必要な場合があります。)</small>	
宅内配線工事費	
●居宅設置機器から室内側	
<small>※宅内の配線状況により工事費は異なります。</small>	

【答】次のとおり予定しています。

んに行政情報や生活情報、緊急情報を統一した内容で提供することが重要であり、そのことにより合併後の新町における生活感覚が、より密接したものになると考えられます。

本町の地域情報化では、次の三点が大きな課題となっています。

- ◎地域ごとに異なる情報基盤や情報サービスの統一
- ◎地上デジタル放送の難視聴対策
- ◎ブロードバンド環境の未整備地域の解消

### ▼地域情報化の充実に向けた今後の取り組みは

地域情報化の課題を克服するには、全町的に統一した高度な情報基盤を利用して、情報サービスを提供する必要があります。また、課題克服とあわせて、今後の情報化社会への対応や都市との情報格差の解消なども考えなくてはなりません。

平成十八年度に策定した地域情報化計画では、現状の課題への対応として「全町域でケーブルテレビサービスが利用できる環境を整備する(情報基盤の統一)ことが有効であり、現有の瑞穂ケーブルテレビをセンターとして拡張整備を目指す」としています。

本町では、今年度から農林水産省の交付金事業を活用し、平成二十三年四月の全地域開局を目標に事業展開を図っていきます。

### ケーブルテレビについて教えて

「ケーブルテレビとはどのようなものなのか」「どんなサービスがあるのか」

## 「瑞穂ケーブルテレビ」の状況

瑞穂ケーブルテレビは、瑞穂地域の有線放送施設の老朽化に伴い、高度情報化への対応や難視聴地域の解消を目指して、平成十六年四月に開局しました。

現在、瑞穂地域の情報提供の中核施設として、自主放送番組の製作・放映、告知放送、地上アナログ・デジタル放送の再送信、インターネット接続サービスなど、さまざまな情報サービスを提供しています。

### 主なサービス内容

#### ▼放送サービス

FM放送  
FM京都 FM802、NHK FM、FM大阪

#### テレビ放送

【自主放送】

身近なニュースや農業情報などを週代わりで放送

#### 【農業気象情報】

気象ロボットによるデータ観測の情報や放送

#### 【文字放送】

町内のお知らせを文字で放送

#### 【NHK・民放放送の再送信】

NHK総合・教育、京都放送、毎日放送、朝日放送、関西放送、読賣放送、NHK-BBS

#### 【多チャンネル放送】

CS放送、BS放送 など

### ▼通信サービス

#### 音声告知放送

行政や各種団体からのお知らせ、生活関連情報、災害時の緊急情報などを音声により放送。

「どのようにすれば利用できるのか」など、みなさんの素朴な疑問にお答えします。

【問】ケーブルテレビとはどのようなものですか。

【答】共聴施設や各家庭のアンテナで電波を受信するのではなく、ケーブルテレビ局(瑞穂情報センター)で電波を受信し、ケーブル線を通じて各家庭まで映像や通信の情報を届けます。

【問】ケーブルテレビではどんな放送をしていますか。

【答】放送サービスとしては、地上アナログ放送(現在のテレビ放送)はもちろん、地上デジタル放送も再送信しています。また、地域に密着した情報や行事などをお知らせする「ミニコミュニティチャンネル(自主放送番組)」、文字放送、気象情報も放送しています。それ以外に多チャンネル放送では、BS放送やCS放送を有料で提供しています。

【問】他にはどんなサービスがありますか。

【答】通信サービスとして、告知放送や地域内IP電話、インターネット接続などのサービスがあります。特に、告知放送では、町内のお知らせや行事、お悔やみ放送、緊急放送など、身近な情報を音声でお知らせしています。

【問】どんなメリットがありますか。

【答】ケーブルテレビは、地上アナログ放送や地上デジタル放送などを良好な環境で受信し、一斉に各家庭まで送信しますので、良質な鮮明な画像でテレビを見ることが出来ます。また、地域情報や行事などの「ミニコミュニティチャンネル」

#### 地域内IP電話

瑞穂地域内の有線電話。加入者間には無料。

#### インターネット接続

高速なインターネットの常時接続や電子メール・ホームページ容量などの利用が可能。

### 用語の説明

- 【ブロードバンド環境】高速なインターネット接続が行えるサービス。
- 【宅内工事費用】ケーブルテレビ整備で取り付ける機器から宅内側のテレビやパソコンへ繋ぐ配線などに係る費用。(町は宅外までの配線のみ対応します)
- 【地域内IP電話】インターネット回線を利用した地域内だけで使える電話。
- 【基本料金】現在の瑞穂ケーブルテレビの基本サービスは、地上アナログ・デジタル放送の再送信、自主放送、FM放送再送信、告知放送、地域内IP電話となっています。なお、インターネット接続や多チャンネル放送は、別途有料サービスとなっています。
- 【地上アナログ放送】UHF帯とVHF帯の電波を使った現在のテレビ放送。
- 【地上デジタル放送】電波の有効利用やテレビ放送の高画質化・高機能化を推進するため、地上デジタル放送に移行することが国によって定められました。デジタル化によって、ハイビジョン放送や多チャンネル化、データ放送などの放送サービスが可能となります。

**白熱した戦い**  
 第三回京丹波町ホッケーフェスティバル  
 第三回京丹波町ホッケーフェスティバルが四月二十九日、小学生から社会人までの四百九十三人(五十一チーム)が参加する中、グリーンランドみずほのホッケー場で開催されました。  
 本大会は、町内外のホッケー仲間が一堂に会し、競技力の向上や交流・親睦を図ることを目的として開催。大会会長の寺井行雄教育長は、「日ごろの練習成果を発揮して白熱した戦いが繰り広げられることを期待しています」とあいさつし、出場選手や応援するみなさんを激励しました。  
 試合は炎天下の中で行われましたが、選手のあざやかなスティックさばきや、激しいぶつかり合い、また、ゴールを目指してチーム一丸となつて向かってくる姿が見られると、観客は敵味方関係なく大きな声援を送っていました。  
 大会では、交流・親睦く面での取り組み強化を図るために、昨年からスピードガンコンテストを実施。また、今年からは他府県から参加されるチームが開会式に出席できるように、早朝に実施していた開会式の時間を遅らせるなどの工夫を凝らすことで、大会の出場チームは年々増えています。



激しいボールの取り合い(グリーンランドみずほ・大朴)

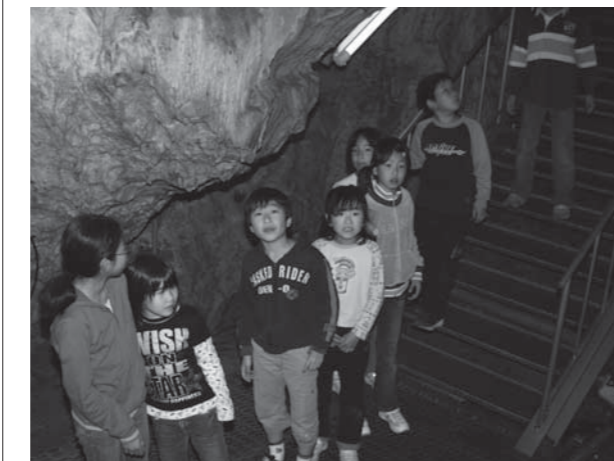
**大きく育ててね**  
 和知小学校稚アユ放流体験  
 四月三十日、和知川漁業協同組合が、和知小学校の五年生四十三人を招いて、本庄市内のフクイ河原(由良川)で稚アユの放流体験を行いました。  
 放流体験は、子どもたちに鮎の生態を知ってもらうことを目的として昨年から実施。参加した児童は、組合員の指導のもと、バケツに入れた約十センチメートルの稚アユを次々に放流しました。  
 同組合は、和知川支流で六百キログラム、由良川本流で千キログラム、稚アユを放流。アユの生育の手助けと快適な環境で友釣りなどが楽しめるように、河川の美化作業にも取り組まれています。



ゆっくりと稚アユを放流する児童(由良川・本庄市内)

- 成績(優勝のみ)は次のとおり
- ▼小学男子の部(参加数 九チーム) 山東ホッケースポーツ少年団 (滋賀県)
  - ▼小学女子の部(参加数 八チーム) 春照ホッケースポーツ少年団 (滋賀県)
  - ▼中学男子の部(参加数 十チーム) 篠山市中学校(兵庫県)
  - ▼中学女子の部(参加数 十チーム) 蒲生野中学校(京丹波町)
  - ▼一般男子の部(参加数 八チーム) 京都ワイルドボアーズ(京丹波町)
  - ▼一般女子の部(参加数 六チーム) 春照ま(滋賀県)

**勇気を出してチャレンジ**  
 三ノ宮小学校一年生歓迎会  
 三ノ宮小学校の一年生歓迎会が四月二十五日、質志鍾乳洞公園で行われました。  
 同校は、新入生を歓迎する行事として毎年、質志鍾乳洞公園を訪れており、今年も全校児童五十八人が参加。児童は、同公園協力会の高岸重由さんから鍾乳洞の歴史や特徴の説明を聞いたあと、三グループに分かれて鍾乳洞内を見学。狭くて薄暗い洞内では、在校生が新入生を励ましながらいっしょに進んでいきました。



鍾乳洞内を見学する児童(質志鍾乳洞・質志)

Dr's Message  
 いきいき健康術 第10回

上手な歯磨きで  
 歯も歯肉も健康に

このコーナーは、町立病院診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知歯科診療所の歯科衛生士 中島早苗さん。上手な歯磨きの方法についてのお話です。

**「磨** いている」と「磨けている」は違います。虫歯や歯周病の直接の原因は歯についたプラーク(菌垢)です。プラークは食べかすではなく、細菌のかたまりです。歯磨きは、プラークを落とすために行います。食べかすを落とすだけではありません。最近では、ほとんどの人が毎日歯を「磨いている」習慣は身につけていると思います。でも、せっかく磨くならプラークがほぼきれいに落とせるような「磨き方」を身に付けたいものです。

食べたら磨く習慣とともに、磨ける磨き方で虫歯、歯周病を予防しましょう。

- 磨き方のポイント**
- ▼ハブラシは鉛筆を持つように持ちます。
  - ▼歯の面になるべくハブラシの毛先が直角に当たるようにハブラシをあてます。
  - ▼ハブラシの毛が曲がらない程度で力をつけてハブラシをシャカシャカ動かします。ゴシゴシではありません。



歯科衛生士 中島 早苗さん(和知歯科診療所)

- 歯磨きを上達するために**
- ①食べたらすぐに磨きましょう  
 食後すぐに磨いたほうが早く汚れが落ちます。三度の食事をきちんととり、食べた後磨く習慣をつけることは、だらだら食いをなくし生活のメリハリもつきます。
  - ②鏡を見ながら磨きましょう  
 きちんとハブラシが当たっているか、汚れは落ちていないかを確認しながら磨くと確実に汚れが落とせて磨き残しもなくなります。
  - ③一日一回はじっくり時間をかけて磨く  
 毎日の歯磨きを簡単にすませていませんか。丁寧に磨くには、五十分は必要です。  
 自分にあった磨き方や道具の選び方など、ぜひ専門家であるわたしたちに相談してみてください。

### 人の心に緑の想いを

第三十三回ふれあいグリーンキャンペーン  
 第三十三回ふれあいグリーンキャンペーン  
 ペーンが五月五日、松原町長をはじめ  
 関係者が出席する中、蒲生野中学校お  
 よび丹波自然運動公園で行われました。  
 同キャンペーンは、社団法人 国土緑  
 化推進機構の協賛を受けて、トヨタ自  
 動車が全国のトヨペット店の協力のも  
 と、「人の心に緑の想いを」をスローガン  
 に、各自治体へ苗木の寄贈や植樹活動を  
 実施。今回、同公園で開催される「ちびっ  
 こまつり」に合わせて、記念植樹や記念  
 式典を行いました。  
 町に寄贈された苗木は蒲生野中学校

にクロマツを五本。植樹式には、中藤昌  
 明校長や関係者とともに、二〇〇八年  
 度ミスインターナショナル日本代表の  
 杉山恭子さんが緑の大使として参加し、  
 クロマツの苗木を植樹しました。  
 同公園で行われた記念式典では、京  
 都トヨペット株式会社 西村勇代表取  
 締役から松原町長に目録が贈呈された  
 あと、国土緑化推進機構理事長からの  
 緑化メッセージを杉山さんが披露。式典  
 終了後には、京都府に寄贈されたハナミ  
 ズキなどを園内に植樹されました。  
 ちびっこまつりには、町内外から約一  
 万五千人が訪れ、休日の楽しいひととき  
 を過ごしていました。



寄贈されたクロマツの植樹式(蒲生野中学校・蒲生)

### 山の味覚を満喫

恒例の春祭りが五月四日、質志鐘乳  
 洞公園で行われ、町内外から訪れた約  
 六百人の来園者でにぎわいました。  
 春祭りは、同公園協力会と地元に住  
 民グループ「あけぼの会」の主催で、開園  
 当初から実施。会場では、地元で採れた  
 スギナ、セリ、フキ、ミツバ、ヨモギ、ユキ  
 ノシタ、ワラビ、ドクダミを使った山菜の  
 天ぷらや山菜うどんが振る舞われ、来  
 園者は普段見慣れない山菜の種類を確  
 かめながらおいしそうにはしをすすめ  
 ていました。  
 また、地元のもち米を使ったもちつき  
 体験も催され、子どもたちが大きな杵  
 を力強く振り下ろす姿に、周囲から大  
 きな歓声があがり盛り上がっていました。



山菜の種類がわかるかな(質志鐘乳洞公園・質志)



かいつぱい振り下ろせ

### 公園内は楽しい ことがいっぱい

タケノコ掘りとカブトムシの幼虫捕り  
 体験が五月七日、わちエンジェルの子  
 児十八人を招いて、丹波自然運動公園  
 で行われました。  
 体験活動は、地域に開かれた施設を  
 目指し、園内の自然に親しんでもらうこ  
 とを目的に、同公園が初めて企画。園児  
 たちは、同公園職員に手伝ってもらい  
 がらタケノコ掘りを体験したあと、枯れ  
 松などの木クスの集積場に生息するカ  
 ブトムシの幼虫を捕まえていました。  
 また、五月十六日には、松山保育所  
 の五歳児二十人が同公園を訪れ、カブ  
 トムシの幼虫捕りを体験していました。



大きなカブトムシの幼虫に驚く松山保育所の園児(丹波自然運動公園・曾根)



タケノコを見つけて喜ぶわちエンジェルの園児

### 地域の伝統行事

#### 京都祇園八坂神社御田祭

恒例の京都祇園八坂神社の御田祭が  
 五月二十五日、下山(尾長野)の八坂神  
 社で行われ、町内外から訪れた観光客ら  
 約二百人が見守る中、すげ笠に着物姿の  
 早乙女八人が手植えて苗の植え付けを  
 行いました。  
 御田祭は、毎年五月末の日曜日に開催  
 される伝統行事。今年も早乙女による植  
 え付けのあと、獅子舞の演舞や丹波八坂  
 太鼓が披露され、訪れた多くの人びとを  
 楽しませていました。



早乙女による苗の植え付け



祇園八坂神社の青年部による獅子舞の演舞

### 力を合わせて 美しい道路環境を



美しい環境で町のイメージアップを(国道9号沿い歩道・須知)

地域住民が主体となって清掃活動  
 行う「ボランティア・ロード丹波」が四  
 月二十七日、丹波自然運動公園前から  
 京都縦貫自動車道(丹波インター)ま  
 での国道九号沿いを対象に行われまし  
 た。  
 清掃活動は、美しいまちづくりと美  
 化意識を図ることを目的として、毎年  
 四、七、十月の三回実施。上田正副町長  
 は、「美しく身近な道路として多くのみ  
 なさんを京丹波町に迎えられるように、  
 参加いただいたみなさんには美化作業  
 にご協力いただきたい」と作業開始前  
 にあいさつをし、そのあと参加した町  
 民ら約百二十人が空き缶やたばこの  
 吸い殻などのごみ拾い、歩道植樹帯の  
 除草作業を行いました。

### スポーツを 通じた交流を

#### 第三回京丹波町軟式野球大会



かいつぱいフルスイング(グリーンランドみずほ・大朴)

京丹波町体育協会が主催する第三  
 回京丹波町軟式野球大会が五月十八  
 日、グリーンランドみずほの多目的広  
 場で開かれ、中学生以上の選手八十  
 一人(六チーム)が参加しました。  
 試合はA・Bゾーンに分かれたリ  
 ーグ戦で行われ、年齢を感じさせないプ  
 レーや周囲を和ませるプレーが随所で見  
 られました。  
 同協会では、町民のスポーツ振興と  
 健康増進、地域交流を深めるために各  
 種スポーツ大会を開催されています。  
 成績(優勝のみ)は次のとおり。  
 ▼Aゾーン ゴンタファミリ  
 ▼Bゾーン 明俊

わたしたちの町	
人口	17,299(-13)
男	8,200(-7)
女	9,099(-6)
世帯数	6,478(+3)
6月1日現在( )は前月比	



# まちの元気人

総務省近畿管区行政評価局長表彰を受賞  
行政相談委員

# 塩田

しおた きいち

# 喜一

さん(73歳) 三ノ宮

「生涯勉強」を目標に心がけています。



「委嘱されてからそれほど経っていないのに、わたしでよいのかと思ひ驚きました」と話すのは、本年五月に総務省近畿管区行政評価局長表彰を受賞された塩田喜一さん。

行政相談委員は、社会的な信望があり、行政運営の改善について理解と熱意を有する人の中から総務大臣が委嘱。国の行政や業務についての相談に応じ、相談者に必要な助言を行うとともに、総務省や関係行政機関などにその内容を通知する役目を担っています。

塩田さんは、平成十二年四月二日から行政相談委員を務められ、永年にわたり苦情の解決と行政運営の改善に尽力された功績により、このたび同表彰を受賞されました。

「国の行政に対する相談は多くありませんが、身近な町行政に関係する業務、家庭内や民事上の問題など、相談内容は多岐にわたります」と塩田さん。身近な相談内容は、農業用水路の改修や道路に設置されたマンホール付近のへこみ、道路付近の騒音など、日常生活に関わる内容が多いとのこと。

京丹波町では、行政法律人権などの相談に応じるために、心配ごと相談を毎月開催。「心配ごと相談の件数は、行政内で専門部門ができたことで減っています。しかし、住民のみなさんの相談に応じるに

は、口ごもるからの研修や情報収集が欠かせません」と塩田さん。地域住民から寄せられるさまざまな相談に対応するために、日ごろから新聞などで情報収集に努められています。

また、「町村合併などで相談される内容も広域化しているので、一人で相談を受けて対応するのではなく、行政相談委員が協力してみなさんの相談に応じていきたい」と塩田さん。今年九月には、南丹市と京丹波町の行政相談委員七人で総合相談を実施されます。

これからの抱負については、「地域のみなさんから受けた相談や意見が反映されるように、生涯勉強を目標としていきたい」と塩田さんは話されました。

## 編集後記

広報担当になって2カ月余りになります。取材を通じて町内ではさまざまな行事やイベントが行われていることをあらためて知りました。

フラッシュ記事で「恒例」の言葉を使っていますが、編集子には初めての体験や知らなかった行事などが多くあります。これからは、できるだけ多くの行事やイベントを取材させていただき、自分自身の中で恒例となるように努めたいと思います。

また、フラッシュ記事では結果をお知らせすることしかできませんが、今後は、お知らせ版を通じてみなさんに事前情報を提供していきたいと思ひます。

みなさんからの情報提供をよろしくお願ひします。(K)